

かけはし

第83号 平成20年7月10日発行
千代田区教育委員会
<http://www.city.chiyoda.lg.jp/>



体育大会の様様
平成20年5月17日 九段中等教育学校にて

主な記事

- ★ 夢の課外事業（エグザイル～富士見小）
- ★ ウェストミンスター市立学校との交流
- ★ まちかど見守り隊
- ★ 環境教育の取り組み



EMS 508362/ISO (JISQ) 14001



写真：千代田区教育委員会
千代田区広報広聴課

夢の課外授業

プロスポーツ選手など各界で活躍する方が小学校を訪問し、子どもたちの交流の中で、生きる力や夢を実現させようとする心を伝える特別な授業です。

☆夢の課外授業（二十一世紀倶楽部主催）が富士見小学校で実施されました☆

「好きだから 努力できる」

人気のボーカル&ダンスユニットE X I L E（エグザイル）のUSAさん、MATSUさんのお二人が、6月25日（水）に富士見小学校を訪問しました。

「子どものころの夢はなんでしたか」「夢をかなえるためにどのような努力をしましたか」とまず子どもからの質問。

USAさんは、「ジャッキーチエンにあこがれていた。運動の時などよく喘息を起こしてネガティブになっていたが、カンフーを習ったおかげで克服でき、ポジティブな自分になった。また、人前は苦手な子どもだったが、ダンスで変わった。ダンスを何時間も練習した。好きなことなのでできた」と語りました。

MATSUさんは、「努力と言われることも楽しんじゃおうとやってきた。天才でも30%で、残り70%はやはり努力。その努力を楽しんで取り組んでくれた」と語りました。

「踊ってみよう」のコーナーでは、「Choo Choo TRAIN」を

習いながら、時には歓声に沸きながら、皆で楽しく踊りました。充実した楽しい時間があったという間に終わりました。夢の課外授業が終わったあとのお二人の感想の言葉。



USAさん、「子どもたちにパワーを逆にもらいました。楽しかった!!」

MATSUさん、「夢の課外授業という名前だけあって夢がたくさん詰まっていた。僕にも新たな夢ができました。自分の子どもと一緒に踊ってみたいですね。始まる前と終わったあとで子どもたちの目がちがうのが印象的でした」



麴町中学校施設整備検討協議会が発足しました

教育委員会では、老朽化した麴町中学校を改築するにあたり学校整備について、各関係者からご意見をお聞きするため、PTA・教職員等学校関係者、同窓会関係者、地域関係者、体育団体関係者等からなる「麴町中学校施設整備検討協議会」（委員＝16名、会長＝田中康博麴町出張所地区連合町会会長）が、平成20年5月21日発足しました。

本協議会は、当面、施設の基本的なコンセプトを検討し、今後策定する基本構想に反映させていきます。また、委員の皆様には、今後も必要に応じ意見を伺いながら改築工事を進めていきます。委員の任期は本中学校が完成するまでの間で、校舎の竣工は平成23年度中を予定しています。

なお、改築工事期間中の仮校舎としては、旧永田町小学校と現校舎6号館（体育館や音楽室等）を併用し授業を進めていきます。

問合せ こども施設課



ウエストミンスター市立学校生徒との交流

千代田区では、区立中学校・中等教育学校生徒海外交流教育として、英国ウエストミンスター市の3つの学校（ウエストミンスター・シティ・スクール、ザ・グレイ・コート・ホスピタル、セント・オーガスティンズ・スクール）との相互派遣による生徒の交流を行っています。

昨年の秋、千代田区の生徒が英国・ロンドンに派遣され、交流した生徒10人と引率の先生方が5月19日に来日しました。今度は英国の生徒が千代田区の生徒の家庭にホームステイし、日本の日常生活を味わったり、パートナーの通う学校で一緒に授業を受けたり、あるいは校外に出かけ日本について学んだりしました。その中で、コミュニケーションの難しさを感じながらも、少しずつ友情を深め、すてきな思い出をつくることができました。こうした交流をきっかけに互いの文化や考え方について理解を深め、国際社会で活躍できる力を付けてほしいと期待しています。

滞在中のウエストミンスター市立学校生徒の活動

- 5月19日(月)…… 来日・北の丸公園散策・ホストファミリーとの対面
- 5月20日(火)・23日(金)・26日(月)…… 学校生活
- 5月21日(水)…… 校外学習（日光見学）
- 5月22日(木)…… 学校生活、歓迎レセプション参加
- 5月24日(土)・25日(日)…… ホストファミリーとの家庭生活
- 5月27日(火)…… 校外学習（都内見学）
- 5月28日(水)…… 帰国



美しい色使いと
日本らしい装飾が
とてもすばらしい。

台風一過の青空の下、日光東照宮を訪れました。



コンニチハ。
ニホンノガッコウ、
ダイスキデス！

歓迎レセプションで
緊張の日本語スピーチ。

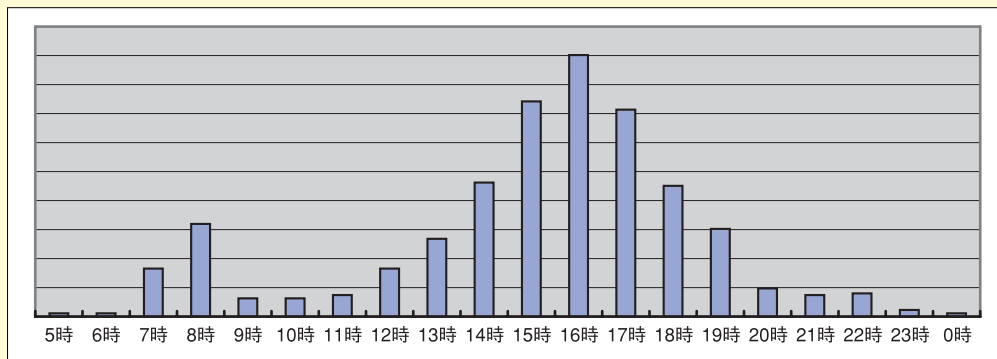


ロンドンでの10日間を含め、
千代田区と英国の仲間20名と
過ごした、この20日間は今
までで一番幸せな時間だった。

見守り活動の実施時間は、下記の「声かけ等の不審者情報」などを参考にすると良いでしょう。

◎発生時間の特徴

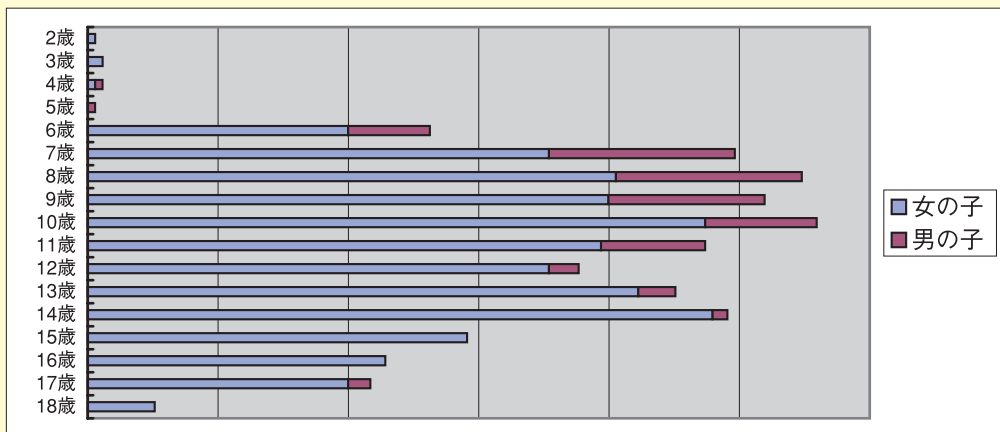
□ 時間別発生状況



◎年齢・性別の特徴

声をかけられた子どもたちの年齢は、男の子は7～8歳、女の子は7歳～14歳が多くなっています。性別では、全体の割合をみると、女の子が5分の4以上を占めていますが、年齢が低くなると男の子の占める割合が大きくなります。

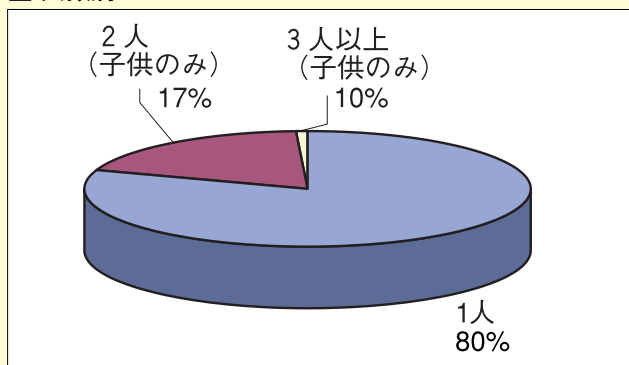
□ 年齢別



◎行動の特徴

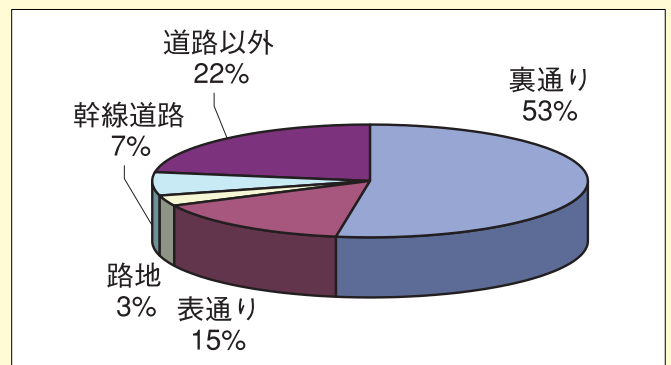
声をかけられるのは、「1人」の時がほとんどです。また、登下校時、特に「学校帰り」に声をかけられることが多くなっています。

□ 人数別

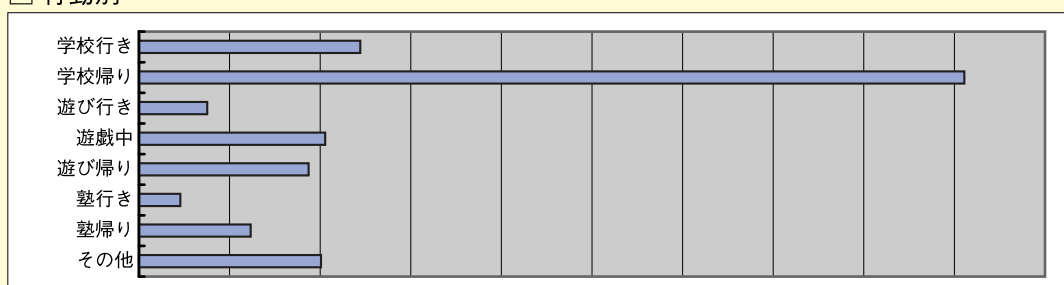


◎場所の特徴

子どもが声をかけられやすい場所は裏通りが多くなっています。



□ 行動別



(注) 統計資料のデータは、平成19年1月～12月の間に、都内で発生した声かけ等の不審者情報について、警視庁生活安全部で分析した結果に基づいています。

まちかど見守り隊

まちかど見守り隊は、保護者と地域、学校がいっしょになって、子どもの安全・地域の安全を守っていく取り組みです。

具体的には、小学校ごとに定めた通学区域内の見守りスポットにおいて、登下校時に合わせ保護者と地域の方々がいっしょになって、子どもたちの見守り活動やパトロール活動を実施しています。

引き続き、保護者や地域の方々のご協力をお願いします。

なお、教育委員会では地域の方々や保護者・教職員による見守り隊に加えて、シルバー人材センターに見守り業務を委託して、小学校の下校時間帯や児童館から帰宅時間に合わせ、シルバー見守り隊を配置し、子どもたちの見守り活動を強化しています。

まちかど見守り隊	概 要
保護者による見守り隊	登録者：4,238名（19年度実績） 4,006名（18年度実績） 見守りスポット：49か所（19年度実績） 44か所（18年度実績） 延べ参加人数：5,756名（19年度実績） 5,060名（18年度実績）
地域住民による見守り隊	登録者 821名
シルバー人材センター による見守り隊 （業務委託）	見守り時間 19年度実績：延べ12,862時間 18年度実績：延べ 8,600時間



～ 千代田小学校 見守り隊の様子 ～



～ 富士見小学校 見守り隊の様子 ～

自然とふれあい 地球にやさしく

～環境教育の取り組みを紹介～

地球的規模での深刻な環境問題について、正しい理解を深め、自分たちができることを積極的に考え実行できるよう環境教育に取り組んでいます。



☆ 麴町幼稚園 ☆

「エコアート」：表現力を手がかりに感性を磨き、自然への関心を高めます。



☆ 昌平幼稚園 ☆

園庭での「稲作体験」：ひとりひとり、丁寧に大切に稲の苗を植えました。



☆ 富士見小学校 3年 ☆

「区一斉清掃日」：地域の人と協力してゴミ拾いをしました。自分達の街をきれいにしようとする意識が芽生えました。



☆ 富士見小学校 5年 ☆

「世界に一本！箸作り」：折れたバットを使い自分の手にぴったり合う箸を作りました。環境を大切にすることもたくさん学びました。

☆なお、保育園、児童館では、CES(千代田区版環境マネジメントシステム)に取り組んでいます。今後「かけはし」でご紹介いたします☆☆

☆ 九段中等教育学校 ☆

「環境新聞」の発行：環境学習を通じて、環境問題への理解を深めます。平成19年度は、50年後の未来に発行するということを想定して「環境に配慮したくらし方の提案」を行いました。



幼・保・小合同研修会／幼・保合同学習会 を行いました。（育成・指導課）



「幼・保・小合同研修会」が平成20年6月4日（水）に、九段小学校・幼稚園を会場にして行われました。区立幼稚園・保育園・小学校の教員100名余りが九段小学校5年生・九段幼稚園5歳児・四番町保育園5歳児の交流活動を参観し研修を行いました。子どもたちは小グループをつくり、5年生児童が5歳児をリードしながらお互いに遊びを楽しむ交流授業・保育が実践されました。参観後、グループで教員・保育士の意見交換が活発に行われました。



（写真上：子どもたちの交流活動、
写真下：参加者のグループ討議）

また、大妻女子大学柴崎正行先生から「これからの保・幼・小の連携 ―幼児期から学童期への円滑な接続―」という題で講演をいただき研修を深めました。大妻女子大学の学生も多数参観しました。大勢の参加と活発な意見交換で有意義な研修会となりました。次回は10月に合同研修会が予定されています。今後も就学前教育と小学校教育の連携にかかわる課題について研修を実施することにより子ども理解を深め、千代田区の各学校（園）の一貫した教育の充実を図ります。

「幼・保合同学習会」は平成20年6月18日（水）に、千代田区役所を会場にして行われました。夕方遅くからの時間設定にも関わらず、区内の私立幼稚園を含め、区立全幼稚園・保育園から70名を超える教員・保育士が参加し熱心に学習会が行われました。

前半は分科会ごとに「就学前教育・保育について」などのテーマに沿って、小グループで協議をしました。幼稚園と保育園で、それぞれが実践していることや大切にしていること、悩みなどを話し合っ相互理解を深めながら、次の指導・保育に活かす意見交流ができました。その後、全グループが報告し合っ協議内容を共有しました。

後半は大妻女子大学学長 大場幸夫先生に「改定保育所保育指針を読む」と題して、改定に関わる基本的な考え方や要点などについてご講演いただき、大変充実した聴講の機会となりました。

事後アンケートに「いろいろな話ができた。今後の自分の保育に役立つことをすぐに取り入れていきたい。」との声が多くありました。次回の学習会は11月の予定です。



「授業の腕を磨く先生」応援のしくみ



麴町小学校にて

千代田区立教育研究所では、区立こども園・幼稚園・小学校・中学校・中等教育学校の授業の腕を磨く先生の応援をしています。応援の方法の概略を紹介します。

①教育研究所が各園・校から、授業の腕を磨く研修の計画書を受け取ります。

⑤明らかになった課題の解決に向け再度先生に授業をしてもらい先生が確実に授業の腕をあげていくように助言をします。



昌平小学校にて

②研修の計画に基づき、教育研究所は電話・FAX等で授業の腕を磨く先生と連絡を取り、授業の進め方等について事前の助言をします。

④授業の後、校・園長先生、副校・園長先生も同席の上、授業を見せてくれた先生と、授業の内容や進め方等について話し合いをもち、授業改善に必要な助言や指導を行います。

③園・学校を訪問し、校・園長先生、副校・園長先生とともに、実際に授業の腕を磨く先生の授業を見せてもらいます。

このようにして千代田区の先生は年間3回以上の研修を通して、授業の腕を磨いています。

区立教育研究所は、区の教科書センターにもなっています。



千代田区立教育研究所では、区立小学校・中学校・中等教育学校で使用されている教科書をはじめ、昭和49年からの各出版社発行の教科書を保管しています。

また、当教育研究所で保管している教科書は、東京都教育委員会が毎年実施している教科書展示会で展示をしています。

この教科書展示会は、今年度も千代田図書館で6月10日から7月4日まで開催されましたが、大変多くの方々にご来館いただきました。当教育研究所は教科書をご覧になりたい方々のために常時閲覧できるようにしています。